

## よくある質問

### 車両にはなぜエンジンオイルが必要なのですか？

エンジンオイルは、エンジン内の可動部品を潤滑することで、機械的な摩擦を低減させます。また、ベアリングやピストンなど、走行中に熱くなる部品を冷却します。また、摩耗や汚染物質、蓄積したオイルカーボンを吸収することで、腐食から保護し、エンジンを清浄化します。また、ピストンリングやラジアルシャフトシールなどのシール効果もあります。

### エンジンオイルの最も重要な特性は何ですか？

粘度は、エンジンオイルの中心的な特性です。これは液体の流動性または粘性を表し、「20W-50」のように数字とアルファベットの組み合わせで示されます。目安として、温度が低いほど粘性が高くなり、温度が高いほど薄くなります。古典的な、特に空冷式の車両では、エンジンオイルが高温で薄くなりすぎないようにする必要があります。それを怠ると、潤滑性が失われ、潤滑膜が破れてしまいます。これは、数種類の基油とそれに対応する添加剤（いわゆる粘度指数向上剤）を使用することで実現されます。一方、クラシックカーでは、極低温でのコールドスタートは一般的に行われなくなりました。このため、ポルシェが開発したエンジンオイルは、摩耗の低減とエンジン暖機時の心地よいエンジン音のために、場合によっては仕様書の数値から逸脱して、意図的に粘度を高くして開発されました。

### なぜ、エンジンオイルを交換する必要があるのですか？

エンジンオイルは、他のあらゆる消耗剤と同様に劣化します。一方では、自然な経年劣化を受け、他方では、煤、硫黄酸化物、水などの燃焼残留物や機械的摩耗によって汚染されます。さらに、ほとんどが短距離に使用されるガソリンエンジンの場合、エンジンオイルは燃焼しなかったガソリン成分によって希釈されることもあります。

### オイルが多すぎると、エンジンに悪影響がありますか？

オイルが多すぎると、エンジンだけでなく環境にも悪影響を及ぼします。これは、オイルレベルが高すぎるとオイルが泡立ち、潤滑機能が制限される可能性があります。同時に、より多くのオイルミストが燃焼室に運ばれ、燃焼が制限されます。さらに、オイル消費量が増えるだけでなく、未燃焼のオイル成分が排ガスとともに触媒コンバーターに入り込み、長期的に触媒コンバーターの効果を低下させます。定期的なオイルチェックを行うことで、オイル補充のタイミングと量を把握できます。ドライサンプ方式のエンジンの場合、オイルレベルはエンジンが回転し、暖機された状態で測定する必要があります。

### オイルはどのくらいの頻度で交換すればよいのですか？

個々の車両およびエンジン型式に応じたオイル交換の間隔は、各取扱説明書に記載されています。走行距離に関係なく、ポルシェ クラシックは年に一度のオイル交換を推奨しています。特に、短距離の走行では負荷が増加します。冷間時のエンジンで頻繁にスタートすると、オイルに入り込む燃焼残留物、燃料不純物、結露が増加します。

## オイルの使用期限はどのくらいですか？

小型容器の場合、使用期限は最低5年です。乾燥した状態で、+5~+30°C(直射日光の当たらない場所)で保管する必要があります。例えば、地下室や保管し、できればガレージには置かないでください。開封した容器は、半年以上保管しないでください。オイル交換の間隔は、お手持ちのメンテナンス冊子をご参照ください。

## 化学合成油の使用が望ましいのは、どのような場合ですか？

ポルシェ クラシック エンジンオイル 10W-50 と 5W-50 は、完全合成エンジンオイルです。完全合成エンジンオイルは、合成ベースオイルから作られています。これは、不要になった構成部品を選別するのではなく、化学的なプロセスで個々の部品に分解し、希望通りに組み立てるものです。完全合成エンジンオイルは、最適な摩擦保護、非常に優れたコールドスタート特性、燃料消費量の削減、エンジンの清浄性など、現代のエンジンに適応させた多くの利点を備えています。そのため、厳選されたクラシックエンジン用オイルを開発するために完璧な基礎を提供します。クラシックのサポート内容に含まれる 4 気筒および 8 気筒のトランスアクスルモデルには、粘度 10W-50 の完全合成エンジンオイル、911(タイプ 996)とボクスター(タイプ 986)では、5W-50 のエンジンオイルが推奨されます。

## 鉱油の使用が望ましいのは、どのような場合ですか？

鉱油は、天然の原油を蒸留して作られます。その過程で、原油の不要な成分が選別されます。当時、エンジンオイルは鉱油をベースに開発されましたが、現在でもこれらのオイルの特性は古いエンジンの基本的な要件を満たしています。このオイルが、20W-50 クラシック エンジンオイルのベースとして機能し、1977年以前の排気量 2.7 Lまでのすべての空冷式モデルに供給されているのは、このためであることは言うまでもありません。

## エンジンオイルには他に何が含まれているのですか？

添加剤とは、望ましい特性を強化したり、望ましくない特性を抑制したりするために、オイルに混ぜる化学物質です。これらは、腐食防止、エンジンの洗浄、温度や化学的な影響によるオイル劣化の防止、混入した水の乳化、すす粒子の懸濁保持、摩擦値の最適化、滑りや転がり接触部の摩耗防止、泡立ち防止、粘度・温度特性の改善などの機能を備えています。

## クラシック ポルシェのエンジンは、どのように冬の準備をすれば良いですか？

エンジンオイルは必ず交換してください。これにより、燃焼残留物や凝縮水などの汚れをオイル回路から除去することができます。また、燃焼残留物の影響により、オイルが酸性化し、エンジン部品に悪影響を及ぼすことがあります。そのため、冬の準備としてオイル交換をお勧めします。その後、エンジンを再度暖機してからエンジンを停止します。これにより、使用停止期間中もエンジンをしっかりと保護することができます。

## ポルシェクラシックのエンジンオイルは、冬の運転にも適しているのですか？

SAE (Society of Automotive Engineers) は粘度クラスを定義しました。「W」の前の序数 (20W = Winter) は、低温での挙動に関する情報を示し、「W」の後の序数 (ここでは50) は、高温 (100°C) での流動挙動のキー数値です。基本的に、数値が小さいほどオイルは薄くなります。比較のために：水は非常に低い粘度を持っています。20°Cでは、粘度値は1です。ポルシェ クラシックのエンジンオイルは、いわゆるマルチグレードオイルです。そのため、夏と冬の両方に適しています。しかし、可能であれば、クラシック ポルシェは、極端な低温でのコールドスタートは避けてください。

私のエンジンには、どのオイルが適していますか？

排気量 2.7L までの 4 気筒および 6 気筒のボクサーエンジンには 20W-50、排気量 3.0L 以上には 10W-60 のエンジンオイルを推奨しています。ここで決め手となるのは、2.7L と 3.2L のエンジン技術、製造公差、そして素材です。ポルシェクラシックでサポートの対象となる 4 気筒および 8 気筒のトランスアクスル車には、10W-50 のエンジンオイルをお勧めします。エンジンオイル 5W-50 は、すべてのターボチャージャー付きエンジンを含む 911(タイプ 996)とボクスター(タイプ 986)の全モデルに適しています。すべてのエンジンオイルはポルシェによってテスト・承認され、そして「ヴァイザッハで開発」されたものです。このように、添加剤は現在の車両の通常の使用状況、エンジン技術、使用されるポルシェの素材に関する要件に最適に調整されています。

ポルシェ 911(タイプ 996)、ボクスター(タイプ 986)に 5W-50 を使用するメリットは何ですか？

996 型と 986 型の市場導入時に発売されたエンジンオイルは、当時のエンジン技術に合わせて、エンジンとオイルのエンジニアが最適化を行い開発したものです。長年にわたり、ポルシェのエンジンは絶え間ない改良を続けており、エンジンオイルもまた、それと並行して適合させる必要がありました。その結果、エンジンオイルと 996、986 エンジンへの差は年々大きくなっていきました。当時使用していた 1996/1997 年開発のオイルは、現在では市場に出回っていません。当社のポルシェクラシック エンジンオイルは、当時開発されたオイルやそのエンジン技術に非常に近いものです。さらに、今日の自動車の一般的使用状況、高走行距離、シール材の老朽化に伴い、当社のエンジンオイルはそれに応じて適合され、添加物が加えられています。